

湖沼のエコツアーリズムコンテスト 事前説明会

2022年7月8日(金)18:00-19:00

主催：公益財団法人国際湖沼環境委員会
(ILEC)

はじめに

- ◆ 表示名は「お名前@大学名/所属名」に変更願います。
- ◆ 音声はミュートでお願いします。
- ◆ 質問はチャットに遠慮なくご記入ください。
- ◆ 説明会中は録画しておりますのでご了承ください。

本日のスケジュール

1. ILECについて
2. 国際シンポジウム2022概要説明
3. コンテスト概要説明
4. 今後のスケジュール
5. エントリー方法
6. 提出書類について
7. 質疑応答

1. ILECについて

- ・ 滋賀県を拠点とするNGO
- ・ 「世界の湖沼とその流域の環境の持続可能な管理と保全に貢献していく」ことを使命として1986年に設立された団体



1. ILECについて

湖は、地球上の容易に利用できる淡水の90%を占める貴重な水資源であるとともに、豊かな自然を育み、我々人類にさまざまな恵みを与えてくれます。今、そのかけがえのない世界の湖の多くが危機に瀕しています。この状況を踏まえ、ILECは世界の湖の持続的な管理と保全を目指して活動しています。



深刻な富栄養化(Dian Chi)



有毒汚染(The Great Lakes)



酸性化(In Sweden)



堆泥(Tonle Sap)



水位低下(Mono Lake)

1. ILECについて

■ ILECの活動の主な3つの柱

- 湖沼流域管理に関する**科学的知見の集約と普及** (SciCom中心)
- 世界湖沼会議の開催などの**国際協力**の推進支援
- 研修活動による人材育成



1. ILECについて

世界湖沼会議(WLC)の開催

■ 1984から、WLCは11カ国で18回開催されています。

	開催年	開催地	テーマ	主催	〈参加数〉	
					人数	国数
第1回 (LECS'84)	1984年	滋賀県 大津市	湖沼環境の保全と管理 -人と湖の共存の道をさぐる-	滋賀県	2,412	29
第2回 (WLC2)	1986年	米国 ミシガン州 マキノウ島	毒性物質による汚染問題 -世界の大湖沼の水質を脅かす重要問題-	ミシガン州	400	42
第3回 (WLC3)	1988年	ハンガリー ケストヘイ	富栄養化・酸性化・毒性物質汚染・モデリング・ 湖沼回復保全アプローチ・関係者の役割・環境問題全般	ハンガリー 環境保護水資源管理省	230	31
第4回 (WLC4)	1990年	中国 浙江省 杭州	湖沼の富栄養化	中国環境科学研究院	422	31
第5回 (WLC5)	1993年	イタリア ピエモンテ州 ストレーサ	21世紀に向けた湖沼生態系保全戦略	イタリア水生生物研究所	357	44
第6回 (WLC6)	1995年	茨城県 つくば市/土浦市	人と湖沼の調和 -持続可能な湖沼と貯水池の利用をめざして-	茨城県	8,203	75
第7回 (WLC7)	1997年	アルゼンチン サンマルティン ・デ・ロスアンデス	後世のためにクリーンな自然湖沼環境を守る	アルゼンチン 国立水環境研究所	500	36
第8回 (WLC8)	1999年	デンマーク コペンハーゲン	持続可能な湖沼管理	コペンハーゲン市	487	60
第9回 (WLC9)	2001年	滋賀県 大津市	湖沼をめぐる命とよなみへのパートナーシップ -地球淡水資源の保全と回復の実現に向けて-	滋賀県	3,617	75
第10回 (WLC10)	2003年	米国 イリノイ州 シカゴ	大湖沼への地球規模の脅威 -不安定で予測不可能な環境下での管理-	五大湖国際研究機関	700	36
第11回 (WLC11)	2005年	ケニア ナイロビ	湖沼流域の持続的管理に向けて -世界の経験とアフリカ大陸の課題-	ケニア政府	770	47
第12回 (WLC12)	2007年	インド ラジャスタン州 ジャイプール	将来に向けての湖沼と湿地の保全	インド環境森林省	600	59
第13回 (WLC13)	2009年	中国 湖北省 武漢	湖沼生態系の復元 -世界の挑戦と中国の取り組み-	中国環境科学学会	1,500	45
第14回 (WLC14)	2011年	米国 テキサス州 オースティン	湖沼、河川、地下水、海岸域の「つながり」を考える	テキサス州立大学 河川システム研究所	492	36
第15回 (WLC15)	2014年	イタリア ウンブリア州 ペルージャ	湖沼は地球の鏡 -生態系と人間活動の健やかな調和に向けて-	ウンブリア 科学ミーティング協会	791	45
第16回 (WLC16)	2016年	インドネシア バリ島	湖沼生態系の健全性と回復力 -生物多様性と種の絶滅の危機-	インドネシア環境林業省	1,064	35
第17回 (WLC17)	2018年	茨城県 つくば市	人と湖沼の共生 -持続可能な生態系サービスを目指して-	茨城県	5,500	50
第18回 (WLC18)	2021年	メキシコ グアナファト	より良い社会に向けた湖沼のガバナンス・回復力・持続可能性	グアナファト大学	1,032	58

1. ILECについて

世界湖沼会議の開催

◆ 次期開催 WLC19（ハンガリー バラトンフェレド）

テーマ：湖沼を越えて 持続可能な利用に向けて科学・文化・ガバナンスを繋ぐ

時 期：2023年10月中旬

主 催：バラトン湖開発調整局、ILEC



2. 国際シンポジウム2022概要説明

- 日時 2022年10月15日(土)
- 開催方法 ハイブリッド方式
(琵琶湖博物館ホール・オンライン)
同時通訳
- プログラム
 - 3-1 湖沼のエコツアーリズムコンテスト
 - 3-2 琵琶湖の恵みを食べよう
 - 3-3 インターナショナルシンポジウム

3. コンテスト概要説明

目的・背景

第5回国連環境総会(UNEA5.2)が2022年2月28日から3月2日にかけてケニア・ナイロビで開催され、「持続可能な湖沼管理」の決議案が採択されました。この決議案は世界の水の問題において見過ごされてきた「湖沼」にスポットライトを当てるものです。この気運を更に高める為、ILECは今秋国際シンポジウム2022を開催し、第19回世界湖沼会議(ハンガリー・バラトン湖)に繋がたいと考えます。そして、湖沼がわたしたちにどのような恵みを与えてくれているかに思いを巡らし、上手く利用しながら湖沼を守っていくことを考える機会を作ります。また本コンテストでは、次回湖沼会議において発表するグローバル人材の育成を目指します。

3. コンテスト概要説明

応募者資格

(1) 大学生等

(2) 10月15日(土)に滋賀県琵琶湖博物館ホールで実施するシンポジウムに参加できること。(オンラインでも可)

3. コンテスト概要説明

応募内容

(1) 湖沼およびその流域(湖沼流域)を観光資源として利活用するオリジナリティのあるエコツーリズムについて提案してください。※湖沼流域とは湖、川、森を含みます。

(2) 下記の点を考慮に入れて提案してください。

- ① **地域の歴史、文化、食、スポーツ、釣り、自然**など人々の暮らしを大切にし、上手く活かすこと、特に「湖沼の環境」と「人」と「地域」にとって「三方よし」となること。
- ② 次の世代へと繋がる持続可能なものとなることを含めて考えてみてください。

3. コンテスト概要説明

審査過程

①一次審査 事務局による書類審査

応募多数の場合は、予備審査を行います。10組程度が1次審査の書類選考に進みます。

②二次審査 書類選考通過者またはグループ3組によるプレゼンテーション(プレゼン 10 分、質疑応答5分)

※コンテスト当日のプレゼンは3組ですが、その他の応募者にも賞がありますので、できるだけ会場への参加をお願いします。

3. コンテスト概要説明

審査基準

- ①提案内容が実現可能で独自性があるか
- ②地域の資源を持続的に利用できる提案になっているか
- ③「湖沼の環境」「地域」「人」にとって「三方よし」となっているか



3. コンテスト概要説明

審査員 約5名

- 学識経験者(観光学)
- 観光事業者
- 環境事業者
- 行政
- ILEC 科学委員

3. コンテスト概要説明

表彰

最優秀賞(1点) 副賞

入賞(2点) 副賞

参加賞他

最優秀賞受賞者は第19回世界湖沼会議(2023年10月ハンガリー・バルトン湖にて開催)にご参加いただきます。

(3名程度。渡航にかかる費用はILEC負担)
湖沼会議までの間に数回のワークショップを計画しています。

4. 今後のスケジュール

事前説明会
7月8日(金)

エントリー締切
8月19日(金)

エントリーシート提出



提出書類締切
9月16日(金)

PPT資料・企画書提出



審査結果通知
9月30日(金)



コンテスト当日
10月15日(土)

5. エントリー方法

8/19(金)締切！

エントリーシート ILECのHPからアクセス

<https://www.ilec.or.jp/news/11952/>

その他

新着情報

2022年6月24日

湖沼のエコツアーリズムコンテスト参加者募集



[899KB]

2022年10月15日（土）に滋賀県立琵琶湖博物館ホールで、来年秋の第19回世界湖沼会議（ハンガリー・パラトン湖畔）を見据えた『ILEC 国際シンポジウム2022』を開催し、その第1部では「湖沼のエコツアーリズムコンテスト」を実施します。

このコンテストは、ローカルな目線で湖沼の価値に思いを巡らし、身近な観光資源としての湖沼の活用を通じて、わたしたちの暮らしを豊かにし、湖沼を守っていくことを目的としています。

「湖沼のエコツアーリズムコンテスト」を開催するにあたり、コンテスト参加者（グループを含む）を募集します。



応募要領 [305KB]



企画書様式 [14KB]

応募エントリー



5. エントリー方法

エントリーシート

お知らせ 2022年6月24日

湖沼のエコツーリズムコンテスト 応募エントリー

次のフォームに必要事項をご記入の上エントリーしてください。（締切：2022年8月19日㊤）

※フォーム送信が困難な場合は、 [こちら \[33KB\]](#)をダウンロードし、Email/Fax/郵送によりエントリーしてください。

■ 所属組織 企業/学校等 ※必須

■ 提案者（代表者） ※必須

■ フリガナ

■ ご住所

〒

■ 電話番号 ※必須

000-000-0000

■ メールアドレス ※必須

■ グループメンバー（1人の場合は記入不要）

氏名と所属組織名を全員分ご記入ください。

6. 提出書類について

9/16(金)締切！

1. プレゼンテーション資料

- ・パワーポイントで作成してください。
- ・10分以内で発表できる内容とし、日本語または英語で作成してください。
- ・提案の内容をイメージできる画像や動画を使用していただくにより良いです。

2. 企画書

- ・指定の様式を利用して、日本語または英語で企画書を作成してください。
- ・企画書様式はILECのHPからダウンロードできます。

<https://www.ilec.or.jp/news/11952/>

6. 提出書類について

湖沼のエコツーリズムコンテスト 企画書

2022/9/16提出締切

1. 基本情報

所属組織 企業/学校等	
提案者 (代表者)	氏名 () TEL・携帯() Email

2. グループメンバー（1人の場合は記入不要）

メンバー氏名	所属組織

3. 提案内容

①提案のターゲットやセールスポイント

--

②地域・人・環境に与える効果

--

③課題等

--

6. 提出書類について

・提出方法

メールにファイルを添付して送信。データ容量が多く送信が出来ない場合は USBメモリ等の記録媒体を郵送で提出。又は大容量データファイル転送サービスを利用

・応募・問合せ先

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 番地

国際湖沼環境委員会事務局

Email:ilec_sympo2022@ilec.or.jp TEL: 077-568-4573

7. 質疑応答



環境省HP エコツーリズムのススメ

<https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/>

本日の事前説明会は終了致しました。

ご清聴ありがとうございました。

録画は後日Youtubeにてアーカイブ配信致します。

HP等でお知らせ致しますのでお待ちください。